

## 公立大学のスポーツを活用した地域貢献に関する研究

1220570 安田梨里花

指導教員 前田和範

### 研究背景

現在、大学におけるスポーツの振興とスポーツを通じた大学と地域の結びつきが注目されており、大学のスポーツによる地域貢献活動は、地域のためだけではなく、競技そのものにも良い影響を与える可能性があると考えられる。そのため、さらなる研究の蓄積と実践が必要である。

### 研究目的

本研究は、大学のスポーツを通じた地域貢献に対する意識調査をすることにより、地域貢献活動としてスポーツ教室を行うことの効果があるのか、今後の地域貢献の在り方はどのようなものかを明らかにすることを目的とした。

### 調査・分析方法

研究対象を高知工科大学とし、バレーボールを事例として、協会および大学関係者に対するヒアリング調査を実施した。また、高知工科大学の強化指定部所属学生(硬式野球部、卓球部、バレーボール部、ソフトテニス部、剣道部、ソフトボール部)54名を対象にアンケート調査も実施した。

### 分析結果

ヒアリング調査からは、高知県のバレーボールには、大学生を中心とした競技力の強化とバレーボール教室の運営等が必要とされており、強化指定部活動は、大学の資源でもあるため、それを最大限活用するためには、大学全体としての取り組み重要となってくるのがわかった。また、アンケート調査からは、部活動の活動の中でスポーツ教室を開催することで、「大学生生活の満足度の向上」や「競技意欲の向上」「就職活動への役立ち度」に良い影響を与えている学生が多いことがわかった。

### 考察・結論

本研究では、「公立大学のスポーツを活用した地域貢献」を研究課題として、ヒアリング調査やアンケート調査を実施し、スポーツを通して大学のスポーツ教室に対する仕組み作りをしていくことで、地域と関わっていく必要があるという結果が得られた。今後の課題としては、実際にスポーツ教室を開催したことから得られる効果を実施後に評価する必要がある。